

第1回ヴォルフスブルグ市国際青年会議の様子 (H30.4/29~5/7)



▶青年会議中各国で意見をまとめている様子

青年会議全体を通して私が感じたことは、他国の若者がとても積極的であるということです。英語、つまり第二言語でディスカッションをすることに対して何の抵抗もない彼らの発言力に驚きました。普段の学校生活では経験のできない、新鮮な体験で、自分にとって良い刺激となりました。



▶青年会議の様子

午前中に行われた会議で一番印象に残ったのは三日目の「ステレオタイプと偏見」というトピックでした。この会議を通じて、一つのことに対してさまざまな方法で情報を得て、すべての情報を信じ込まない事が大切である事、相手が何教、何人であってもそれだけで判断をせずに、自分からその人と話すことが大切だと学びました。



▶青年会議参加者達と

世界中から集まった同世代の人と寝食を共にし、数多くの貴重な体験と新たな友人を多くつくることができました。それぞれの国の文化や宗教、育ってきた環境によって、行われているボランティア活動に差があったり、フェイクニュースに対する考え方、SNSの扱い方などに大きな違いがあったりと、日本では得ることのできない違ったものの見方や考え方、習慣などを学ぶことができました。

※第2回(R2.4.27-5.4)として予定していた国際青年会議は、コロナの世界的流行により開催中止。